

公認心理師の職責

[講義] 第1学年 前期 必修 2単位

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》○ 富家 直明 安部 博史

【概 要】

公認心理師を目指す人のための導入科目である。主体的、対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の体験を通して、公認心理師の法的位置付け、法的義務と倫理、期待される社会的役割、安全の確保、情報の適切な取り扱い、保健医療、福祉、教育、司法、産業・労働分野における公認心理師の業務、自己発見や課題解決能力、生涯学習への準備、多職種・地域連携について学ぶ。

【学習目標】

公認心理師の法的位置付け、法的義務、倫理を知る。

情報の適切な取り扱いを知る。

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野における公認心理師の業務を知る。

公認心理師として生涯にわたって、知識・態度・技能を研鑽するために必要な課題の発見・解決方法、自己研鑽の方法について理解する。

公認心理師としての多職種連携の意義と課題について学び、地域連携の重要性・あり方について理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	公認心理師の法的位置付け	公認心理師法を通読し、その特徴を理解する。 キーワード：公認心理師法	富家 直明
2	公認心理師の法的義務	公認心理師の法的義務について、公認心理師法第4条を中心にその内容を理解する。 キーワード：公認心理師法第4条、公認心理師の法的義務	富家 直明
3	公認心理師の倫理	公認心理師、及びその他関連する医療系資格、カウンセラー資格等の倫理綱領を比較通覧し、公認心理師に求められる倫理がどのようなものであるかを理解する。 キーワード：職業倫理、カウンセラーの倫理	富家 直明
4	情報の適切な取り扱い	個人情報保護に関する法律や社会的制度を理解し、情報保護のために必要な知識やスキルを習得する。 キーワード：個人情報保護	富家 直明
5	保健医療分野における公認心理師の業務	保健医療分野における公認心理師の業務を知る。 キーワード：病院、介護療養型医療施設、保健所、精神保健福祉センター	富家 直明
6	福祉分野における公認心理師の業務	福祉分野における公認心理師の業務を知る。 キーワード：児童相談所、地域包括支援センター、社会福祉法人	富家 直明
7	教育分野における公認心理師の業務	教育分野における公認心理師の業務を知る。 キーワード：スクールカウンセラー	富家 直明
8	司法分野における公認心理師の業務	司法分野における公認心理師の業務を知る。 キーワード：刑務所、少年院、少年警察	富家 直明
9	産業・労働分野における公認心理師の業務	産業・労働分野に置ける公認心理師の業務 キーワード：ストレスチェック、就労支援、キャリアカウンセリング	富家 直明
10	公認心理師国家試験の概要	公認心理師国家試験の出題に関する情報を整理し、国家試験に向けた学習の方法を理解する。 キーワード：公認心理師国家試験 ＊ループリック評価	富家 直明
11	自己課題発見・解決能力	自己課題発見・解決能力について理解する。具体的には下記のキーワードについて学ぶ。	安部 博史

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		キーワード：自己課題発見能力 課題解決能力	
12	生涯学習と自己研鑽	生涯学習への準備について理解する。具体的には下記のキーワードについて学ぶ。 キーワード：大学における養成カリキュラムと学び 大学院における養成カリキュラムと学び 国家試験 生涯学習 自己研鑽	安部 博史
13	多職種連携 (多職種連携及び地域連携1)	多職種連携と地域連携について理解する。具体的には下記のキーワードについて学ぶ。 キーワード：多職種連携 チーム医療 チーム学校	安部 博史
14	地域連携 (多職種連携及び地域連携2)	多職種連携と地域連携について理解する。具体的には下記のキーワードについて学ぶ。 キーワード：地域連携 他職種の業務	安部 博史
15	チームとしての活動 (多職種連携及び地域連携3)	多職種連携と地域連携について理解する。具体的には下記のキーワードについて学ぶ。 キーワード：チームアプローチ 連携を阻害する要因	安部 博史

【評価方法】

レポート30%、定期試験70%で評価する。評価の観点は、本授業に関わる、知識・理解、獲得した知識等を活用し、新たな課題に適用し課題を解決する能力、態度・志向性、専門職業人としての倫理観を含む。また、学修成果や態度を振り返るためにルーブリック評価を実施する回がある。

【備考】

教科書：公認心理師の職責（公認心理師の基礎と実践）（遠見書房）ISBN:978-4866160511

参考書：関係行政論（公認心理師の基礎と実践）（遠見書房）ISBN:978-4866160733

【学習の準備】

毎回の講義で、学習の準備に関連するキーワードを提示するので、以下の通りに準備を行ってこること。

< 授業時間外学修 >

予習（60分～90分）：各回において指定されたキーワードについて、参考書、関連書、インターネットなどで調べておく。

復習（30分～60分）：学習内容を自分の言葉でまとめる。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得する、という臨床心理学科のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

富家直明（公認心理師）、安部博史（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究・社会貢献活動の成果を反映させた講義内容となっている。